

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ぼかぼか

(ユニット名) 9名

記入者(管理者)  
氏名 野本 誠一

評価完了日 平成 19 年 11 月 2 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月8日

【評価実施概要】

事業所番号	3873500767		
法人名	有限会社 オアシス		
事業所名	グループホームほかほか		
所在地	伊予郡砥部町高市 1 3 1 8 番地 (電話) 089-969-2760		
管理者	野本 誠一		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月13日	評価確定日	平成20年1月8日

【情報提供票より】 (平成19年11月2日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年4月20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤	6人, 非常勤 8人, 常勤換算 5.4人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年11月2日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用されるご本人が見学を訪れ、ご自分の故郷の雰囲気に似ているからと入居を決められた方もおられる。入居の手伝いを事業所でされたり、ご自宅で育てていた蘭を事業所に持ち込まれ、職員とともに育てておられる方もいる。  
 利用者が、ご自分でいつでもお茶を飲めるよう共用空間の目立つところに、急須や利用者個々の湯のみが置かれている。食材は、畑の採りたての野菜等を使用されている。お天気のよい日には、ウッドデッキでお茶を楽しまれている。タケノコ堀、お花見、栗拾いや八十八ヶ所のお寺参りにも出かけておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受け、利用者個々が馴染めるような食器を準備されており、利用者にご自分のコップでお茶を飲んでいただけるようになった。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価に取り組み、今後、力を入れていきたい点についての確認が出来たと話されていた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議ではホームの活動報告をされ、グループホームの理解を得られるよう働きかけておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・病院受診時は、前もってご家族に連絡をされ、受診の結果も報告されている。事業所に来訪することがむづかしいご家族の方には、職員がご自宅を訪問し、伝えておられる。又、行事の予定をお知らせし、参加を呼びかけておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・小学校の運動会に行き、競技に参加された利用者もおられる。事業所での餅つき大会では、小学生、地域の方、ご家族も参加された。野菜を届けてくれる地域の方もおられる。運営者は、地域の一人暮らしの高齢者に日頃から声をかけ、気配りされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>事業所独自の理念を作り上げホールに掲示している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、利用者が地域の方と関わりながら生活できるよう、支援することに心がけておられた。</p>		今後、「地域密着型サービス」を提供する事業所として、目指すことを理念に採り入れるための話し合いを予定されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念の共有と実践に向けてお互い協力し実現できるように努力している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、事業所の理念に基づきながらケアを行えるよう、日頃から職員に話しをされている。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>地域の行事に参加することによってホームに対する理解を深めてもらえるように努力している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や買い物を通じて会う人と話をする中で親しくおつき合いができるように努めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事に積極的に参加している。 (外部評価) 小学校の運動会に行き、競技に参加された利用者もおられる。事業所での餅つき大会では、小学生、地域の方、ご家族も参加された。野菜を届けてくれる地域の方もおられる。運営者は、地域の一人暮らしの高齢者に日頃から声をかけ、気配りされている。		今後、老人会のクロッキーにも参加することを検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者に貢献する取組みをするにはいたっていない。		今後どうすれば実現できるか話し合い検討したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価し、外部評価を受けることによって気づいていないことや知らず知らずのうちに悪習慣になっていることを見直して修正する様に努めている。 (外部評価) 自己評価を行うことで、今後、力を入れていきたい点についての確認が出来たと話されていた。前回の評価結果を受け、利用者個々が馴染めるような食器を準備されており、利用者にご自分のコップでお茶を飲んでいただけるようになった。又、立地面等により、病院受診に時間がかかるので、利用者の状態変化を早めに察知し、対応できるよう取り組んでいきたいと考えられていた。		さらに、サービス評価の仕組みを貴事業所のさらなる質の向上のために十分活かせるよう、取り組みを工夫されてみてはどうだろうか。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			職員それぞれの意見を聞いてサービス向上に生かしている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議ではホームの活動報告をされ、グループホームの理解を得られるよう働きかけておられる。		次回の会議の際には、消防署の方にも参加していただき、避難訓練を行う予定となっていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			できる限り行き来する機会をつくり交流を通してサービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			市の担当者の方に見学に来ていただいたり、毎月、介護相談員の受け入れを行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			十分に取組んでいるとは言えない。		職員各人が地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について理解を深め制度の活用が必要なときには速やかに対応できるように努める。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			「何が虐待にあたるか」等、虐待についての理解を深め見過ごすことがないように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時において重要事項説明書、個人情報に関する同意書、医療連携体制の説明の文書には、説明者の氏名記入・押印を行い、十分な説明を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 機会は設けていないが、利用者と職員のコミュニケーションにおいて気づいたことがあれば、計画作成担当者やホーム長が個別に関わるようにし、ミーティング時に話し合ったりしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) ケアプランを基に、体調の変化等、家族に定期的に報告、確認を行っている。面会の少ない御家族からは連絡があり、報告等を行っている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 重要事項説明書において、苦情に関する説明を行い、当施設、行政機関等の苦情受付の案内を行っている。		事業所全体の取り組みや様子等を、事業所に来訪しにくいご家族にも知っていただけるよう、報告の工夫が期待される。
		(外部評価) ご家族の来訪時、食事やおやつを一緒に食べながら過ごされることもある。管理者は、ご家族から意見等をうかがえるよう働きかけておられる。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  ミーティングや会議を度々開き意見を聞く機会を設け可能な限り反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  職員それぞれの特性に応じて役割を分担し必要な時間帯に対応できるように調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  時々異動はあるが、運営に支障がないように運営者、管理者、職員が相談しながら対処している。		
			(外部評価)  職員間で親睦会をされたり、職員の悩み等、法人代表者が聴き取っておられる。調査訪問時、新人の職員の方が、利用者一人ひとりにあいさつをされていた。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  働きながらのトレーニングは言葉をかけているが、個々の信念が頭から離れず指導が難しい。		
			(外部評価)  管理者は、外部研修を受講できるよう、職員個別に声をかけておられ推進されている。研修受講後にはレポートを作成されている。		さらなる事業所の質の向上を目指し、外部研修で得た知識や技術を職員に周知するような仕組み作りも期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			県在宅介護支援センターの勉強会には常に参加している。職員も参加させている。			他の職場の見学や人々の話を聞き、良いことは取り入れるようにしている。
			(外部評価)			
			事業所での餅つき大会に、他の事業所の職員も参加された。		さらなるネットワーク作りへの取り組みが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			個々にまかせているが、通勤の時間帯にストレスを発散させている職員もいるようです。			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			勉強会に参加するよう言葉がけをしている。			
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			入居時において、ケアプラン作成を通し、本人の意見を傾聴し反映させるようにしている。本人の様々な不安、訴えに対し、職員、計画作成担当者、ホーム長が協力して対応している。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  利用者と同様、入居時において、ケアプラン作成を通し、家族の意見を傾聴し反映させるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  職員が本人の訴えを確認した場合、計画作成担当者やホーム長と相談し、家族への報告など、個別に対応している。本人から、「家族にお墓のことがどうなっているか聞いてほしい」と訴えがあり、本人宛に手紙を書いてほしいと家族に対応した。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  入居時において、ケアプランを基に、本人の生活パターンを尊重し、マイペースに過してもらうように配慮している。他の利用者や環境に慣れてくれば、体操や外出など、声かけするようにしている。  (外部評価)  利用されるご本人が見学を訪れ、ご自分の故郷の雰囲気に似ているからと入居を決められた方もおられる。入居の手伝いを事業所でされたり、ご自宅で育てていた蘭を事業所に持ち込まれ、職員とともに育てておられる方もいる。		
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  職員はホームでの時間、話題を共有し自分でできることは可能な限り本人にお願いして必要なときには指導するように心がけ自立支援に努めている。  (外部評価)  職員は、利用者に昔の歌や、木の実のつかいみちや効能等を教えてもらうこともある。利用者職員で世話をした蘭が開花したことをともに喜んでおられる様子がうかがえた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  毎回ではないが、ケアプランの確認では、家族宅に訪問し、説明と同意を得るように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  ケアプラン作成時には家族宅に訪問し、本人の生活状況の報告や入居までの生活歴、家族との関係を把握し、個々の家族の关系到配慮するようにしている。面会時には、家族の思いや本人の家族に対する対応に変化がないか、把握するようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  馴染みの理髪店を利用したりや、友人に訪問してもらっている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  利用者同士が会話している場面があれば、極力見守るようにし、関係が悪化する場合には対応している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  長期入院の可能性のある場合や要支援認定となった場合は、しっかりと家族、関係者と話し合い、配慮できている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			家族の希望等もあり、必ずしも本人の希望通りにはできないが、できる限り本人の意向に沿うように努めている。ケアプラン作成における本人の意思確認や、ミーティングでその都度確認している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日々のかかわりの中で、ご本人の思いや意向の把握に努力されている。訪問時、利用者に声を掛け、「お風呂に入られますか」と希望を聞いておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人や家族との話の中で各人の生活歴や暮らし方、生活環境、サービス利用の経過等の把握に努めている。居室にテレビや扇風機を設置したり、馴染みの理髪店を利用してもらうなど、できるだけ配慮している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員が本人の状態を総合的に把握し変化に対応できるように努めている。入所時には本人のペースを尊重して対応し、他の利用者や職員と慣れてくれば、本人の得意なこと、好きなこと、趣味などに対して声かけしていく。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の状況について、ミーティングやその都度職員で確認し、ケアプランに反映させている。家族には、電話等で確認している。		
			(外部評価)		
			ご本人やご家族の意見を聞きながら介護計画を作成しておられる。		今後、利用者個別の日々の記録の充実から、介護計画の作成につなげていけるような取り組みもすすめていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			下肢筋力の訓練等、見直しや追加のケアプランを作成する場合は、職員、家族に確認している。		
			(外部評価)		
			6ヶ月ごとに見直しをされている。又、利用者の状態の変化時には、その都度見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			申送りノートを利用して、職員間での情報の共有に努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			電話をかけたいという要望や、手紙を書いてもらうように家族に伝えてほしいなど、柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			利用者、ご家族の要望等もあり、入院時、ご家族の代わりに職員が洗濯等のお世話をされたり、ご本人の兄弟の方のお見舞いにも同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議等で協力していただけるような関係を築いている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 施設ケアマネジャー連絡会に参加している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在まで地域包括支援センターへの相談等はないが、状況に応じて、協働していきたい。施設ケアマネジャー連絡会で相談等できるようになっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所時に本人、家族と確認をとっており、症状に応じて、受診の相談をしている。  (外部評価) ご家族が通院に同行される場合には、ご家族にご本人の状態を伝えておられる。又、職員が同行する場合は、医師と薬のこと等、相談をされることもある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 入所時に本人、家族と確認をとっており、症状に応じて、受診の相談をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  入所時に利用していた関係者から情報収集している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  病院側との話し合いを家族だけの対応に任せるのではなく、ケアマネジャーも一緒に対応し、長期入院になった場合の対応など話し合うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  本人の意思を確認し、その意思通り職員間で対応できるかをミーティングで話し合い、その旨、家族とも話し合い、関係者と相談し対応している。  (外部評価)  入居時、重度化した時のことや看とりについて、ご家族の希望を聞いておられる。		今後、ご本人の思いや希望等についても、機会を捉えて聴き取っていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  本人の意思を確認し、その意思通り職員間で対応できるかをミーティングで話し合い、その旨、家族とも話し合い、関係者と相談し対応している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  入所時には、職員間で本人の情報を共有し、ホームのペースではなく、本人のペースを優先して対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけや対応には職員が十分に注意し記録については個人情報が出ることがないように置き場所や管理に気をつけている。ちゃんづけをしていたことがあり、職員間で確認し、しないことになった。		
			(外部評価) ご本人のプライドを傷付けないような言葉かけや対応、又、職員の声の大きさにも配慮されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望や思いが伝わりにくいときはわかるまで根気よく様々な表現方法で意思疎通をはかり納得して暮らせるように支援している。		
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々本人の希望を聞いて暮らしに反映できるように支援している。入所時には、職員間で本人の情報を共有し、ホームのペースではなく、本人のペースを優先して対応している。		
			(外部評価) 居室のテレビでお好きな俳優が出演する時代劇を見ておられる方や植木の水やり、菜園の手入れをされる方等、個々の好み等にも合わせ、利用者それぞれのペースで暮らせるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ホームが街から離れているため、日程の調整が難しく理容、美容についてはその都度職員が対応しているが、身だしなみについては本人に合わせてアドバイスしたり相談を受けたりして支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備から後片付けまで利用者と職員と一緒に協力して行っている。食事前には、利用者に台拭きをしてもらったり、利用者と一緒に洗い物や食器拭きをしている。 (外部評価) 利用者と共に事業所の畑で収穫した野菜を使って、調理されている。調査訪問時、利用者個々のお膳は、ご自身で配膳、下膳されている様子がうかがえ、又、食器を洗ったり、拭いたりされていた。利用者のご自身の力で食事を食べられるよう、職員は声かけやサポートをされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の嗜好を聞いてできる限り希望にそうように努めている。嚥下の弱い利用者には、甘い果物が好きで、よく食べてもらえるので、おやつ時等配慮している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のパターンや習慣を把握し、失敗のない排泄ができるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日は決まっているが、できる限り本人の都合やタイミングを考慮し希望にそうように努めている。		
			(外部評価)		
			希望があればその都度入浴できるようになっている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			暑さ寒さ照明にも配慮して眠りやすい環境を演出するように努めている。朝食後、自室で昼食まで休まれたり、昼寝をされる方もおり、できるだけ本人のペースで過してもらっている。タオル体操や口腔体操には、声かけし、できるだけ参加してもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望に沿って可能な範囲で支援している。入所後の生活において、掃除が好きな方、炊事が得意な方、畑仕事が好きな方に声かけし、本人の気分転換や喜びになるよう対応している。下肢の弱い利用者の方には、職員が見守るようにしている。		
			(外部評価)		
			居間にピアノ、居室にはエレクトーンを準備し、好きな時に弾いておられる方がいる。調査訪問時もピアノ演奏をしてくださり、皆が拍手をされていた。訪問時、食後に床掃除をしてくださる利用者の方もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			現在は一人ひとりの希望に応じてお金を所持してもらったり使えるようにはしていない。		家族とも相談の上で慎重に対応していく。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			対応可能な限り勤務体系を整えてできる限り希望に添えるように支援している。夜勤者が出勤すると、利用者に散歩や庭の水やりの声かけをし、対応している。		
			(外部評価)		
			お天気のよい日には、ウッドデッキでお茶を楽しまれている。タケノコ堀、お花見、栗拾いや八十八ヶ所のお寺参りにも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			特に希望はないが、花見、夏祭り、運動会、そうめん流し等外出の機会を作っており、家族にも案内している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望で、家族に、お墓の状況が知りたいので、手紙を送ってほしいと頼まれ、家族にその旨伝え、手紙を書いて頂いた。電話をかけたいという希望はほとんどないが、家族から掛かると、取次ぎしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			感染症等が流行っていない時は、気軽に訪問していただいている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束について正しく認識し身体拘束にならないケアを実施している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  全ての職員が利用者の行動に注意して自己のないように努めつつ居室や玄関を開放してケアに取り組んでいる。  (外部評価)  職員は、見守りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  利用者の失礼に当たらぬように配慮しながら必要な安全確認を実施している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  保管・管理の場所や高さに注意するなど可能な限り拘束感のない環境でケアできるように努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  一人ひとりの状態をよく把握し薬品・物品の置き場所や保管場所を考慮し、必要な場所には手すり等の安全策を講じ利用者の行動は常に注視している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の連絡方法についてはマニュアル化されているが応急手当や初期対応については講習に参加するなどして非常事態に備えているが、全員が速やかに対処できるまでには訓練されていないように思う。		生命に関わることなので全ての職員が処置できるように応急手当や初期対応についての訓練を実施したい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難場所や方法について災害対策が十分とはいえない。  (外部評価) 避難訓練の際、サイレンが鳴ることを近所の方にお伝えし実施された。地域の一人暮らし等のお年寄りの方には、災害時、事業所に避難してもらえよう声掛けされている。		安全な避難や誘導について全員で避難できる方法を身につける訓練をする必要がある。  次回の運営推進会議では、消防署の方にも出席いただき、利用者・職員・地域の方と共に避難訓練を行う予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランにおいて、家族等に説明しているが、緊急時の対応などは家族にリスク等を説明し同意を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変について気づいたことは職員全員が連絡帳に書留め、確認しあうようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全ての職員が利用者全員の服薬に関して熟知しているとはいえない。送りノートを使って職員間で共有している。疑問がある場合は、看護師に相談しや薬剤情報を活用するようにしている。		用法を間違えると、生命に危険を及ぼす場合もあるのでみんなで勉強し理解しておきたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 散歩や運動を心がけ水分摂取に気をつけるなどして、便秘予防に取り組んでいる		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯の手入れ等についてそれぞれに応じた口腔ケアの指導、支援をしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態や力に応じて食事の量や栄養バランスを考えた献立をつくり、水分量が不足することのないように努めている。 (外部評価) 利用者が、ご自分でいつでもお茶を飲めるよう共用空間の目立つところに、急須や利用者個々の湯のみが置かれている。食材は、畑の採りたての野菜等を使用されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手指の消毒は勿論、手袋の使用の徹底やトイレ・台所の清潔にも気を配っているが予防や対応について明確にマニュアル化されていない。		感染症について職員がより理解を深め認識を高めることが必要。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理用具は常に清潔を保つように管理し、古い食材や使いかけの食材を放置しないように心がけ、できる限り使い切るように申し送りしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花や置物を飾るなど、訪問する人が入りやすい雰囲気を作っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節に合わせた花や装飾品を工作して壁に貼ったり描いた絵を掛けるなどして工夫し匂いや採光、室温管理にも注意している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>視線を気にされる方もおられ、食卓テーブルの上には植木鉢が置かれていた。畳のコーナーに、ホームごたつ、居間にはテーブル式のコタツが設置されていた。</p>		<p>利用者にとっての馴染みの物を増やす等、利用者年代の方の落ち着ける雰囲気について、さらに工夫を重ねていきたいと話しておられた。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルやイス家具の位置などを変えてその時々状況にあった配置を考え過しやすい空間づくりに努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			できる限り本人の希望や家族の意見にそうように配慮し快適に過せるよう対応している。		
			(外部評価)		
			居室にテーブルと椅子を置き、そこで塗り絵をされる方がおられる。ホームに植えているしゅろで、八工たたきを作り、置かれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者各人の状態に合わせた温度調節を心がけ窓の開閉にはとくに注意を払っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレの手すり等のバリアフリー構造など、利用者の安全確保に配慮してあり、通行に支障がないように家具の配置をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			今のところ大きな混乱や失敗はないが状況に応じてその都度改善している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			テラスに出て星や月を眺めたり談笑したり職員と畑に出て収穫するなど外回りや空間はよく活用されている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意向をくみとりにくい利用者もいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	テラスや室内のソファで会話を楽しんだり、お茶を飲んで過したりすることがある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望があれば可能な範囲で対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は常に利用者の変化に気を配り、その都度対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ② <b>少しずつ増えている</b> ③あまり増えていない ④全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ② <b>職員の2/3くらいが</b> ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ② <b>利用者の2/3くらいが</b> ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	常に不満を言われる利用者もいるが、特に不足はないと思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① <b>ほぼ全ての家族等が</b> ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の健康の維持管理や増進について、皆で考え、器具を使ったりして本人の体力の向上に努め、日常生活の中での作業に積極的に参加してもらうことによって機能の回復を図っている。